

令和 3 年 6 月 18 日現在

機関番号：13901

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2018～2020

課題番号：18K01608

研究課題名（和文）中国の「一帯一路」構想が地球環境に及ぼす影響に関する研究

研究課題名（英文）China's Belt and Road Initiative and its Impact on the Earth Environment

研究代表者

薛 進軍 (Jinjun, XUE)

名古屋大学・経済学研究科・名誉教授

研究者番号：40262399

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,300,000円

研究成果の概要（和文）：本研究の研究成果は以下のようにまとめている。

(1) 海外研究協力者との連携で本研究に必要な産業連関表および経済・環境・炭素排出のデータベースを構築している。(2) 「一帯一路」は関連国の経済成長を促進し、世界経済への波及効果が大きいということが明らかにしている。(3) 「一帯一路」の国は中国との投資貿易活動の増加によるエネルギー消費の増加、炭素排出が急増していることが判明されている。(4) 地域別・産業別のグリーン開発政策の設定、グリーン開発アセスメント指標の導入を対策として提案している。(5) 国際会議の開催とSCIENCEなどの国際学術誌に論文の発表によって、本研究の目的が概ねに達している。

研究成果の学術的意義や社会的意義

(a) 中国の「一帯一路構想」は、世界経済にどのような経済効果があるか、その環境への影響はどうか、これらの問題を明らかにすることは、本研究の目的であり、先駆的な研究である。(b) 産業連関表等の分析手法を利用し、世界産業連関データベース(WIOD)と中国の多地域間産業連関表(MRIO)を統合したビックデータの構築および学際的研究方法の創出は、学術的に大きな特色をもち、独創的な研究と思われる。(c) 本研究は、雁行型経済発展論と結び付け、「一帯一路」によるアジア諸国の産業構造転換と越境汚染、炭素漏れの問題を分析し、環境要素を考慮したダイナミックな雁行型発展モデルを創出することは経済理論に貢献できる。

研究成果の概要（英文）：The research results are summaries as follows.

(1) In collaboration with overseas collaborators, we constructed a multi-regional input-output table and a database of economic, environmental, and carbon emissions necessary for this research. (2) This study clarified that "the One Belt, One Road Initiative" (BRI) promoted economic growth of related countries and induced a great spreading effect on the world economy. (3) It found that the BRI countries have an increase in energy consumption and a rapid increase in pollutants and carbon emissions due to the increase of their investment and trade activities with China. (4) We are recommending a green BRI through applying green development policies by region, industry and route, and suggesting the introduction of green development assessment indicators as countermeasures. (5) The goals of this research are generally achieved by holding international conferences and publishing papers in international academic journals such as SCIENCE.

研究分野：開発経済学

キーワード：一帯一路 環境負荷 多地域間産業連関表(MRIO) 環境アセスメント 炭素排出 グリーンGVC 世界産業連関データベース(WIOD) 中国

様式 C-19、F-19-1、Z-19（共通）

## 1. 研究開始当初の背景

「一帯一路」は中国の習近平国家主席が2013年に提唱した中国と欧州を結ぶ巨大な広域経済圏構想であり、陸路で中央アジアを経て欧州に続く「シルクロード経済ベルト」が「一帯」で、南シナ海からインド洋を通り欧州へ向かう「21世紀の海上シルクロード」を「一路」を示す。その背景は以下のようなものである。

第一に、今現在の中国は、労働の過剰供給から供給不足に至る労働移動のルイスの転換点（Lewis, Manchester School, 1954）を超え、賃金上昇、工業生産の収束、成長率の低下といった連鎖的な問題が深刻になりつつある。特に、出生率の低下および人口ボーナスの減少により労働力不足、賃金上昇等の問題が顕著になり、安価な労働力を武器にした Made in China 製品の国際競争力が低下している（Cai, 2016）。これに技術革新の鈍化を加え、中国は大規模な工業化段階が終わり、経済が減速しながらポスト工業化段階に向かい、過剰生産の産業を海外へと移転し、中国企業が前例のない規模で加速度的に海外進出をしている。

第二に、中国は、環境クズネッツ曲線（Grossman, QJE, 1995）の転換点を迎えている。中国では、PM2.5をはじめとする大気汚染、土壌汚染、水質汚染、食品汚染等の環境汚染が深刻な問題として注目されている（Liu and Diamond, Nature, 2005；薛, 2013）。また、中国は世界の工場であると同時に世界の二酸化炭素排出大国に位置づけられ、国際貿易を通じた中国の越境汚染と炭素漏れ問題は欧米・アフリカまで波及し、国際的非難を浴びている（Guan, Nature Climate Change, 2014）。そのため、中国は、国内環境基準の強化と炭素削減目標の達成迫られ、汚染産業と高炭素産業を海外へ移転をし始めている（Zhang, Liu, Xue[薛], Science, 2017）。

第三に、米国の反グローバスの反対に、グローバル化と貿易自由化の恩恵を受けた中国は、米国の代わりに、これから中国が国際経済・貿易のルールを作り、新たなグローバル化をリードしていくという習近平プラン（Xi Jinping's Plan, Hu, 2017）である。

本研究は、「一帯一路」の建設による世界経済の構造転換への影響及びそれによる地政学の変化を予測する。

## 2. 研究の目的

本研究の目的は、中国が提唱した「一帯一路」構想がもたらす地球規模な経済効果を評価するとともに、その地球環境にどれ程の影響を及ぼすかを分析し、これから国際社会、特に日本は、どのように対応すべきかの方策を検討することである。

まず、「一帯一路」が各国において、陸・海・空の三次元から道路・海港・空港・ダム・等のインフラ整備及び工場建設を行うため、その国際貿易、賃金と雇用、産業構造への影響は巨大と思われる。本研究は、最新の 2012 年中国多地域間産業連関表 (MRIO) および世界産業連関データベース (WIOD) を利用し、「一帯一路」の関連国の経済成長・産業構造変化にもたらす影響をシミュレーションし、世界経済への波及効果を試算する。

次に、「一帯一路」を展開するため、中国国内で規制された高エネ・高汚染・高炭素の産業が復活され、それに使われる化石燃料・電力の大量使用による環境汚染物と二酸化炭素排出の大量的増加、または、「一帯一路」の関連国において生産の拡大に伴う環境廃棄物と炭素排出の増加、特に将来にこれらのインフラ維持に関わるエネルギーの使用と炭素排出の継続的増加は予想される。本研究は、環境アセスメントと炭素排出推計の方法で「一帯一路」の地球環境への負荷を、汚染物と二酸化炭素の両方から評価し、グリーンな「一帯一路」の設計・建設・モニタリングを提案する。

さらに、「一帯一路」の日本への影響を分析し、日本の対策を検討する。

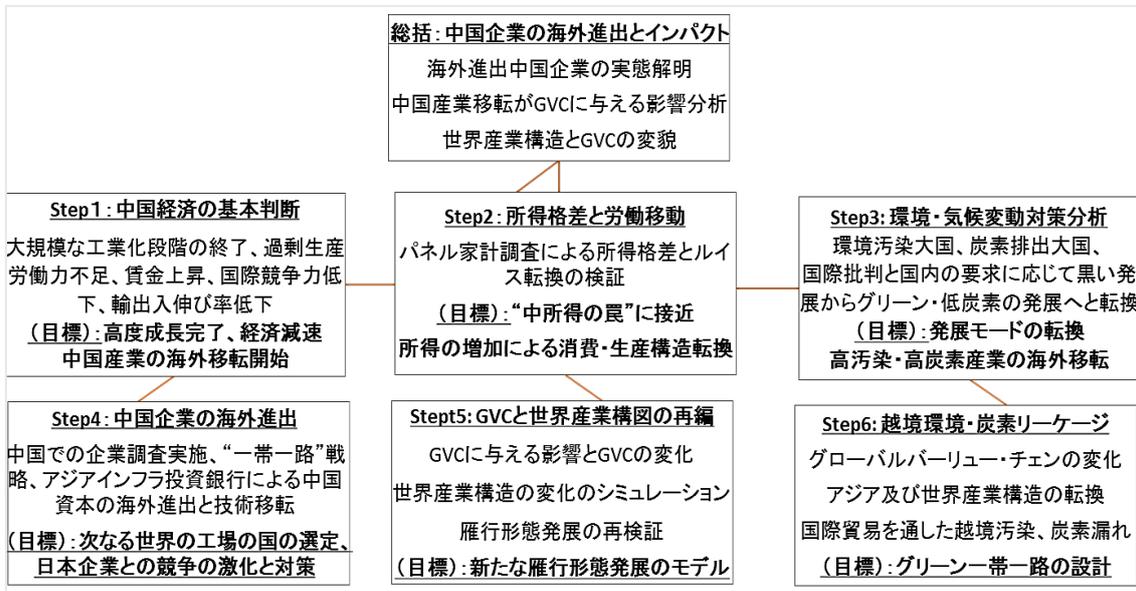
### 3. 研究の方法

(a) 中国企業の海外進出を対象に、サーベイとデータの収集により、それらのデータに基づいて、設定された研究問題を分析する。

(b) 産業連関表・応用一般均衡モデル (CGE)・GTAP (Global Trade Analysis Project) 等の分析手法を利用し、世界産業連関データベース (WIOD) と 2012 年中国の多地域間産業連関表 (MRIO) を統合したビックデータを構築する。また、「中国企業調査」・「中国経済センサス」に基づく厳密な実証分析を行う。

(c) 理論的創新。本研究は、上述の研究を雁行型経済発展論と結び付け、中国の「一帯一路」によるアジア諸国の産業構造転換および越境汚染、炭素漏れの問題を分析し、新たに環境要素を考慮したグリーン GVC (Green GVC) とダイナミックな雁行型発展の経済モデルを創出し、グリーン「一帯一路」の理論基礎を構築する予定である。

本研究のロードマップは以下の通りである。



#### 4. 研究成果

本研究の研究成果は以下のようにまとめている。

(1) 海外研究協力者との連携で本研究に必要な産業関連表および経済・環境・炭素排出のデータベースを構築している。

(2) 「一帯一路」は関連国の経済成長を促進し、世界経済への波及効果が大きいということが概ねに解明している。

(3) 「一帯一路」の国は中国との投資貿易活動の増加によるエネルギー消費の増加、炭素排出が急増していることが判明されている。

(4) 地域別・産業別のグリーン開発政策の設定、グリーン開発アセスメント指標の導入を対策として提案している。

(5) 国際会議の開催と Science などの国際学術誌に論文の発表によって、本研究の目的が概ねに達している

しかし、本研究は実施している最中で、コロナ禍が発生し、研究の打ち合わせ・データ収集および共同研究のための国内海外旅行・国際会議の開催などの活動は、大きな影響を受け、一部の研究は予定より遅れてしまった。そのため、期間終了しても本研究は、続けて行う。

#### 英文：

The research results are summaries as follows.

(1) In collaboration with overseas collaborators, we constructed a multi-regional input-output table

and a database of economic, environmental, and carbon emissions necessary for this research.

(2) This study clarified that "the One Belt, One Road Initiative" (BRI) promoted economic growth of related countries and induced a great spreading effect on the world economy.

(3) It found that the BRI countries have an increase in energy consumption and a rapid increase in pollutants and carbon emissions due to the increase of their investment and trade activities with China.

(4) We are recommending a green BRI through applying green development policies by region, industry and the route, and suggesting introduction of green development assessment indicators as countermeasures.

(5) The goals of this research are generally achieved by holding international conferences and publishing papers in international academic journals such as *Science, Nature Communications and Nature Sustainability, Energy Economics, Applied Energy, etc.*

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計21件（うち査読付論文 20件 / うち国際共著 14件 / うちオープンアクセス 21件）

1. 著者名 Kelly Burns, Xue Jinjun, Larry Li, Sun Qian	4. 巻 67.4
2. 論文標題 The Indirect Economic and Environmental Impact of China's Belt Road Initiative	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Economic Science	6. 最初と最後の頁 9-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 嚴 善平、薛 進軍	4. 巻 60
2. 論文標題 中国における成人高等教育の拡張および就業者収入増への効果 普通高等教育との比較分析を中心に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 アジア経済	6. 最初と最後の頁 2~36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/ajiakezai.60.1_2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Meng Bo, Liu Yu, Andrew Robbie, Zhou Meifang, Hubacek Klaus, Xue Jinjun, Peters Glen, Gao Yuning	4. 巻 230
2. 論文標題 More than half of China's CO2 emissions are from micro, small and medium-sized enterprises	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Applied Energy	6. 最初と最後の頁 712~725
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2018.08.107	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Li Larry, McMurray Adela, Sy Malick, Xue Jinjun	4. 巻 40
2. 論文標題 Corporate ownership, efficiency and performance under state capitalism: Evidence from China	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Policy Modeling	6. 最初と最後の頁 747~766
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jpolmod.2018.03.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Wang Qian, Hubacek Klaus, Feng Kuishuang, Guo Lin, Zhang Kun, Xue Jinjun, Liang Qiao-Mei	4. 巻 81
2. 論文標題 Distributional impact of carbon pricing in Chinese provinces	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Energy Economics	6. 最初と最後の頁 327 ~ 340
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.eneco.2019.04.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Chen Quanrun, Loschel Andreas, Pei Jiansuo, Peters Glen P., Xue Jinjun, Zhao Zhongxiu	4. 巻 49
2. 論文標題 Processing trade, foreign outsourcing and carbon emissions in China	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Structural Change and Economic Dynamics	6. 最初と最後の頁 1 ~ 12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.strueco.2019.03.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sun YongPing, Xue JinJun, Shi XunPeng, Wang KeYing, Qi ShaoZhou, Wang Lei, Wang Cheng	4. 巻 236
2. 論文標題 A dynamic and continuous allowances allocation methodology for the prevention of carbon leakage: Emission control coefficients	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Applied Energy	6. 最初と最後の頁 220 ~ 230
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2018.11.095	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Xiao Hao, Sun Ke-Juan, Bi Hui-Min, Xue Jin-Jun	4. 巻 235
2. 論文標題 Changes in carbon intensity globally and in countries: Attribution and decomposition analysis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Applied Energy	6. 最初と最後の頁 1492 ~ 1504
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2018.09.158	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yuning Gao, Meng Li, Bo Meng, Jinjun Xue	4. 巻 2003
2. 論文標題 China's Provincial Carbon Emission Transfers and the Effectiveness of Mitigation Policies	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 IDE Discussion Paper, No.775	6. 最初と最後の頁 1-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Wang Qian, Hubacek Klaus, Feng Kuishuang, Guo Lin, Zhang Kun, Xue Jinjun, Liang Qiao-Mei	4. 巻 224
2. 論文標題 Distributional impact of carbon pricing in Chinese provinces	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Energy Economics	6. 最初と最後の頁 1~14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.eneco.2019.04.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Chen Quanrun, L?schel Andreas, Pei Jiansuo, Peters Glen P., Xue Jinjun, Zhao Zhongxiu	4. 巻 49
2. 論文標題 Processing trade, foreign outsourcing and carbon emissions in China	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Structural Change and Economic Dynamics	6. 最初と最後の頁 1~12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.strueco.2019.03.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sun YongPing, Xue JinJun, Shi XunPeng, Wang KeYing, Qi ShaoZhou, Wang Lei, Wang Cheng	4. 巻 236
2. 論文標題 A dynamic and continuous allowances allocation methodology for the prevention of carbon leakage: Emission control coefficients	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Applied Energy	6. 最初と最後の頁 220~230
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2018.11.095	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Chen Zhan-Ming, Ohshita Stephanie, Lenzen Manfred, Wiedmann Thomas, Jiborn Magnus, Chen Bin, Lester Leo, Guan Dabo, Meng Jing, Xu Shiyun, Chen Guoqian, Zheng Xinye, Xue JinJun, Alsaedi Ahmed, Hayat Tasawar, Liu Zhu	4. 巻 9
2. 論文標題 Consumption-based greenhouse gas emissions accounting with capital stock change highlights dynamics of fast-developing countries	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-05905-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Meng Bo, Liu Yu, Andrew Robbie, Zhou Meifang, Hubacek Klaus, Xue Jinjun, Peters Glen, Gao Yuning	4. 巻 230
2. 論文標題 More than half of China's CO2 emissions are from micro, small and medium-sized enterprises	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Applied Energy	6. 最初と最後の頁 712 ~ 725
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2018.08.107	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Li Larry, McMurray Adela, Xue Jinjun, Liu Zhu, Sy Malick	4. 巻 172
2. 論文標題 Industry-wide corporate fraud: The truth behind the Volkswagen scandal	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Cleaner Production	6. 最初と最後の頁 3167 ~ 3175
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jclepro.2017.11.051	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Wei Wendong, Li Jiashuo, Chen Bin, Wang Meng, Zhang Pengfei, Guan Dabo, Meng Jing, Qian Haoqi, Cheng Yaohua, Kang Chongqing, Feng Kuishuang, Yang Qing, Zhang Ning, Liang Xi, Xue Jinjun	4. 巻 1
2. 論文標題 Embodied greenhouse gas emissions from building China's large-scale power transmission infrastructure	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature Sustainability	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41893-021-00704-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ya Zhou, Yuli Shan, Dabo Guan, Xi Liang, Yanpeng Cai, Jingru Liu, Wei Xie, Jinjun Xue, Zhuguo Ma & Zhifeng Yang	4. 巻 1
2. 論文標題 Sharing tableware reduces waste generation, emissions and water consumption in China's takeaway packaging waste dilemma	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature Food	6. 最初と最後の頁 552 ~ 5561
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Gao Yuning, Li Meng, Xue Jinjun, Liu Yu	4. 巻 90
2. 論文標題 Evaluation of effectiveness of China's carbon emissions trading scheme in carbon mitigation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Energy Economics	6. 最初と最後の頁 104872 ~ 104872
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.eneco.2020.104872	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Li Larry, McMurray Adela, Li Xiaomeng, Gao Yuning, Xue Jinjun	4. 巻 282
2. 論文標題 The diminishing marginal effect of R&D input and carbon emission mitigation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Cleaner Production	6. 最初と最後の頁 124423 ~ 124423
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jclepro.2020.124423	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Liu Zhu, Ciais Philippe, Deng Zhu, Davis Steven J., Xue Jinjun, Boucher Olivier, Boucher Eulalie, Chevallier Frédéric, Tanaka Katsumasa, Wei Yiming, Zhong Haiwang, Kang Chongqing, Zhang Ning, Chen Bin, Xi Fengming	4. 巻 11
2. 論文標題 Near-real-time monitoring of global CO2 emissions reveals the effects of the COVID-19 pandemic	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 1-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-020-18922-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Zhang Hongwu, Shi Xunpeng, Wang Keying, Xue Jinjun, Song Ligang, Sun Yongping	4. 巻 86
2. 論文標題 Intertemporal lifestyle changes and carbon emissions: Evidence from a China household survey	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Energy Economics	6. 最初と最後の頁 104655 ~ 104655
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.eneco.2019.104655	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

[学会発表] 計12件 (うち招待講演 12件 / うち国際学会 12件)

1. 発表者名 薛進軍
2. 発表標題 Climate Risk and Risk Management in Japan
3. 学会等名 第8回市場志向のグリーン・低炭素の発展国際シンポジウム (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年 ~ 2021年

1. 発表者名 薛進軍
2. 発表標題 Sustainable Energy System in the Post COVID-19 Pandemic Era
3. 学会等名 ICAE2020 Energy and Climate Panel (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年 ~ 2021年

1. 発表者名 薛進軍
2. 発表標題 Sustainable Energy System in the Post COVID-19 Pandemic Era
3. 学会等名 The 8th Beijing Humboldt Forum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年 ~ 2021年

1. 発表者名 薛進軍
2. 発表標題 日本の水素社会計画およびその中国への意味
3. 学会等名 The 7th Beijing-Humboldt Forum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 薛進軍
2. 発表標題 名古屋大学発のサステイナビリティ学研究
3. 学会等名 名古屋大学国際シンポジウム (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 孟渤
2. 発表標題 The Recent Evolution of Global Value Chains and Related Environmental Analyses
3. 学会等名 中国産業連関学会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 孟渤
2. 発表標題 Interdisciplinary Approaches to Global Value Chain Analyses: Smile Curves, Networks and Environmental Perspectives
3. 学会等名 The 7th Beijing-Humboldt Forum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 孟渤
2. 発表標題 Global Value Chains and Carbon Emission Responsibilities
3. 学会等名 中国長安大学セミナー（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Xue Jinjun
2. 発表標題 Built a Green, Low-carbon Belt and Road
3. 学会等名 第6回Beijing-Humboldt Forum（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Xue Jinjun
2. 発表標題 Sino-US Trade War and its Impact on Carbon Emissions
3. 学会等名 China Association of International Trade Studies（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Xue Jinjun
2. 発表標題 A Carbon Emissions Flying Geese Model
3. 学会等名 The Fifth International Symposium of Market Oriented Green, Low-carbon Development（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Xue Jinjun (Tatsuto Yukihiro)
2. 発表標題 The Globalization Impact of the Belt & Road Initiative and a Green BRI
3. 学会等名 The Fourth Taihu Culture Forum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 薛進軍、蔣慶哲等	4. 発行年 2019年
2. 出版社 对外經濟貿易大学出版社	5. 総ページ数 258
3. 書名 中国低炭素經濟發展報告書2019	

1. 著者名 薛進軍ら	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 336
3. 書名 現代中国經濟論[第2版]	

〔産業財産権〕

〔その他〕

2020年ではコロナ禍の影響で一部の研究は送られたが、2021年から研究を再開し、その結果を学術誌に投稿、またはWTOの報告書に載せる予定である。
---

## 6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	孟 渤  (Bo Meng)  (70450541)	独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・新領域研究センター・主任調査研究員    (82512)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	関大博  (Dabo Guan)	教授・Univeristy College of London, UK	
研究協力者	高宇寧  (Yuning Gao)	教授・清華大学・公共管理学院	
研究協力者	孫永平  (Yongping SUN)	教授・Hubei Univeristy of Economics	
研究協力者	劉竹  (ZHU LIU)	教授・清華大学地球システム学部	
研究協力者	李強  (Larry Li)	講師・RMIT, Australia	

## 7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計8件

国際研究集会 ICAE2020 Energy and Climate Panel	開催年 2020年～2020年
国際研究集会 The 7th Beijing-Humboldt Forum	開催年 2020年～2020年

国際研究集会 第8回市場志向のグリーン・低炭素の発展国際シンポジウム	開催年 2020年～2020年
国際研究集会 中国産業連関学会	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 The 7th Beijing-Humboldt Forum	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 名古屋大学国際シンポジウム	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 第5回市場志向のグリーン・低炭素の発展	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 第6回Beijing-Humboldt Forum	開催年 2019年～2019年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
中国	Gao Yuning	清華大学	公共管理部	
オーストラリア	Kelly Burns	Vicoria University	Center for Energy Policy	
米国	Kuishuang Feng	University of Maryland	Geography	
英国	Dabo Guan	East Anglia University	Climate Change Center	
オーストラリア	Larry Li, Adela M.	Business School	RMIT	
中国	Gao Yuning	中国国勢研究院	清華大学	
日本	Meng Bo	IDE-JETRO	アジア経済研究所	